

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の国語の未来へバトンをつなぐ



国語科授業づくり講座(教材研究会)～単元づくりの基本を学ぶ～

宿毛小学校第2回「教材研究会」

単元名 むかし話のおもしろさを見付け、しょうかいしよう
～広げ「おもしろ山」～
教材名 「かさこじそう」(東京書籍2年下)

令和元年10月発行 西部教育事務所



西部管内の
講座関係のHP

1. 課題の所在の明確化

児童の実態より

- 課題** 登場人物や場面の様子を捉えること。(CRT 結果より)
- 要因** 登場人物の行動や場面の様子を具体的に想像する際、**物語の叙述と結び付けて読むことができていない。**

単元構成より

二次に教科書教材で学習した後、三次に関連図書教材で試すといった構成では、主体的な学習にならない。(二次と三次の分断)

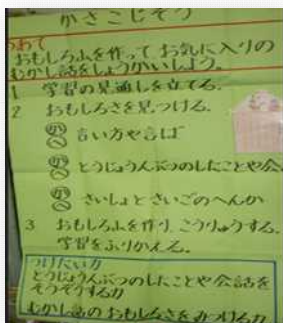
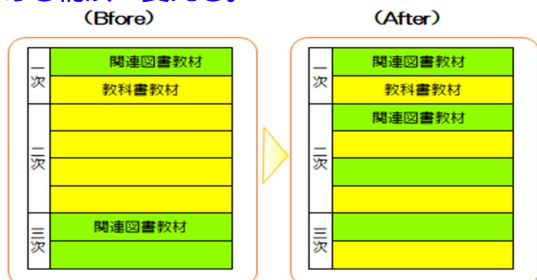
2. 課題の解決策の提案

- ◆**児童の感想から昔話のおもしろさの着眼点を示し、叙述を基に具体的に想像する。**

- 「言い方やことばのおもしろさ」
- 「人物のおもしろさ」(会話や行動)
- 「話が大きく変わったところ」



- ◆二次の教科書教材で学習したことを、三次で関連図書教材で試す従来の単元構成から、**教科書教材で学習したことを、関連図書教材で試しながら進める構成へ変える。**



3. 提案授業

目標

場面の様子に着目して、登場人物のしたことや会話を具体的に想像することができる。

言葉による見方・考え方

場面の様子や登場人物の行動や会話などの叙述を基に、登場人物の行動の理由や様子を具体的に考えたり、問い直したりする。

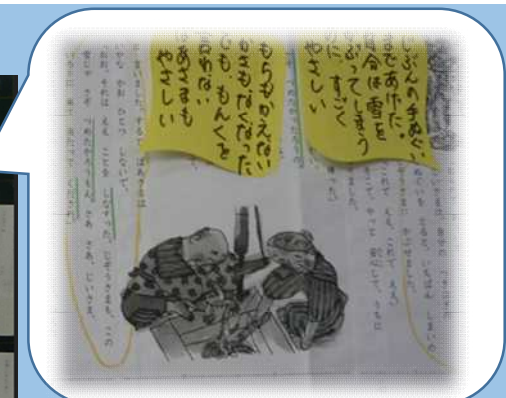
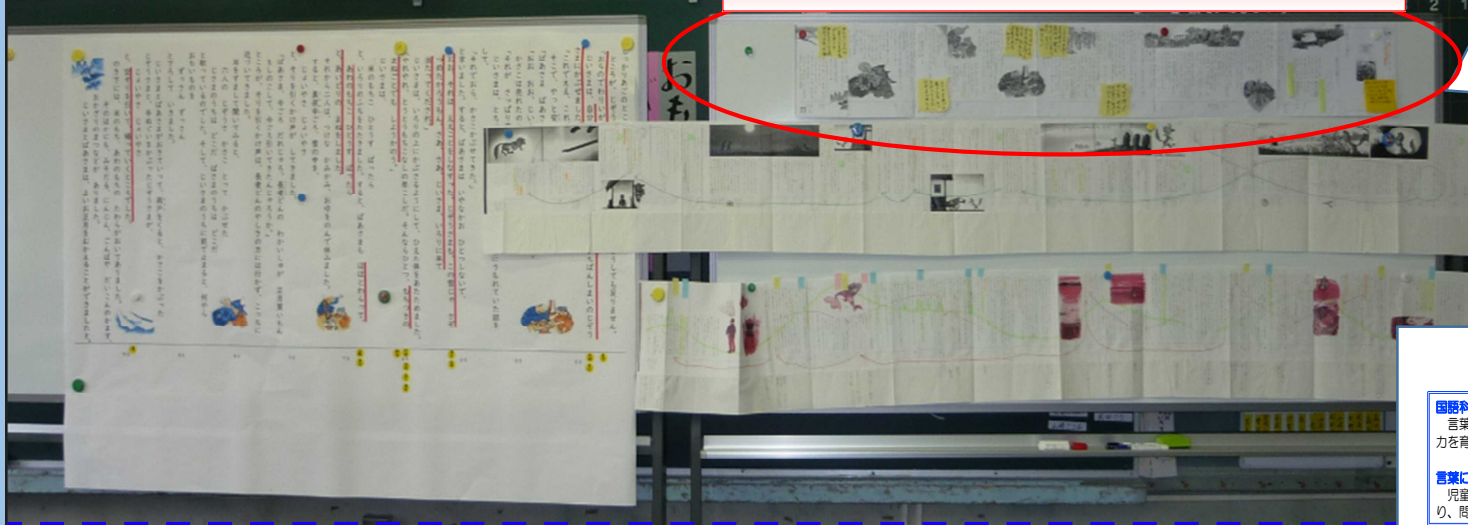


4. 協議・共有

- 視点① 言語活動は魅力的で意欲がもてるものであるか。
 - 視点② 交流のもたせ方(目的意識をもたせる発問の工夫はあるか)は効果的か。
- おもしろ山にカードを貼り、地域の図書館に掲示することは、児童にとって魅力的である。
- カードに書く内容が示されているので分かりやすく、全員が書けると思う。
- カードを基に交流するため、全文シートが活用されていない。叙述を基に想像させるためには、書きあげたカードで交流しない方がよい。(言葉による見方・考え方が働いていない)
 - 交流したことで、変容が見られるのか。児童が「友だちの意見を聞いてみたい」という主体的な交流となっていなかったのではないか。

5. 講師による指導・助言

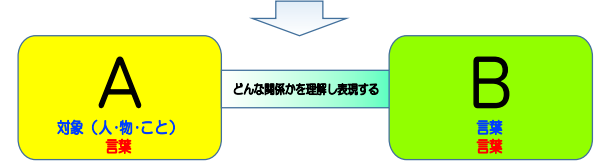
全文シート：教材の全文が見渡せるようにしたもの



言葉による見方・考え方

国語科の目標の注書
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

言葉による見方・考え方を働かせるとは
児童が学習の中で**対象と言葉**、**言葉と言葉**の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり、問い直したりして、言葉への自覚を高めること。



おじいさんがやさしいところがおもしろい。 } どうしてそう思ったの? } だって、ここ(教材文)にこう書いてあるから。

(図1) 言葉による見方・考え方

講師：松永 立志 先生 (前鎌倉女子大学准教授)



1 全文シートの活用について

全文シートは、**教材研究に有効なツール**である。教師にとっても、児童にとっても、価値あるものを浮かび上がらせる。

教師・・・指導事項と密接に関わらせ、具体的にどこを想像させたいのか可視化する。

児童・・・「おもしろいところ(紹介したいところ)」を見付け、理由を付けて紹介するために活用する。

言葉による見方・考え方を働かせるには、「A」と「B」に何をおくかを考えるとよい。本時では、見付けたおもしろさ(やさしさ)を「A」におき、教材文を「B」におくとよい。どの叙述とつなげて考えたのか、言葉で表現させる。(図1)

2 単元構成について

単元のゴール「昔話のおもしろさを紹介する」ことを念頭に置きながら、**毎時間「紹介する」言語活動を位置付けるとよい。**(→児童がゴールを意識しながら学習を進めるために必要) 本校が提案した教科書で学習した力を関連図書ですぐに試す流れがよい。

3 対話について

先生から指示された対話では、学習の変容は見られない。児童自身が「対話したい」と思ったとき、変容が見られる。そのためには、**自分のめあて**をもたせることが必要。

参加者の声

- ◎「AとBをつなげる」という言葉による見方・考え方がストンとおちた。
- ◎全文シートの活用の仕方が、低・中・高学年で違うことや、叙述に即して関係性を意識しながら考えさせることの大切さを学びました。

第2回 授業研究会のご案内

11月7日(木)【授業研究会】
*講師の先生からご教授いただいた内容を踏まえ、自分だったらどのような単元構成にし、言語活動をどう組織するかなど考え、本時の授業構成を描いて参加すると、より深い学びになりますよ!